

Fusyo Collaboration letter



4月 19日 No.2 文責 廣田 秀俊

三つの取組 「なんのために だれのために どんなよさが」

本校では三つの取組を継続して行っています。「掃除・あいさつ・はきものそろえ」です。

子どもたちが自ら進んで取り組み、よりよい生活を創造することが出来ることを目指し行っています。この取組は結果が見やすく、実感が得やすいものです。日々の生活には、とても大切に、具体的に取り組みやすいものでもあります。

掃除時間が始まります。本校では朝の時間にチームで掃除を行っています。週明けからは、今年度の新チームで始動しました。“キラキラ掃除集会”では6年生がリーダー役となって、掃除場所や掃除分担を伝えていきました。無言清掃への取組のため、無言移動も心がけています。掃除の仕方もみんなでチェックし合います。



ある日の掃除を少し紹介します。時間とともに移動した子どもたち。早速掃除道具をもってその場所へ移動です。ほうきをもつ手がその場所全体へと広がっていきます。汚れを見落とさないように低い姿勢でゴミを取り除きます。

ぞうきんの子が手を動かしていきます。膝を床に付け直角に拭き上げていきます。どの顔も真剣です。この姿は附属小の伝統です。

上級生の掃除する姿を見て下級生も真似していきます。学校でのこの取組の成果が他の行動へと良い影響を与えていくようになり、公の場でも行動できるようになっていきます。



自分で考えながら「なんのために だれのために どんなよさが」あるのかを見極めていきます。三つの取組のなかの掃除を通して考えを深めていきます。基本掃除の前の黙想や掃除終わり前3分のプラスアルファ掃除、道具片付け後の班ごとの振り返り、それらの行動ひとつひとつが合わさって、本校のキラキラ掃除となります。水曜日の掃除集会後から1年生も加わり新チーム全学年の掃除が始まっています。

キラキラ掃除でチームの仲間との関わりや、自己の生活の向上につながっています。

